



ふれあい 放水路

1997
(平成9年)
第41号
8月



大漁！地引網

「セーのっ、セーのっ」というかけ声が砂浜から聞こえてきます。八月一日の夕方、神戸川河口近くの海岸で、大社町中荒木地区のみなさんや建設省、新内藤川水門工事関係者の参加により地引き網が行われました。

夕方といってもまだ暑い中、西に傾いた太陽に向かい、大人も子供も一緒になって網を引くと、ピチピチとはねるものが見えてきました。砂浜に網を引き上げると中には大量のアジやキスが！

以前は、夏になるとよく大社湾の海岸で地引き網が行われていましたが、最近はあまりその光景を見かけません。地元の方の中でも何年かぶりにするという人や、初めて地引き網をするという子供たちもいて、大いに盛り上がりました。

捕れた魚はみんなで山分け。この日の晩御飯には、おいしい魚のご馳走が並んだことでしょう。



松江市立津田小3年 加藤 萌子 さん



松江市立津田小3年 倉橋 彩 さん



松江市立津田小3年 宮廻 知里 さん

河川愛護ポスター優秀作品表彰

7月の河川愛護月間の行事の一環として、今年も小・中学生のみなさんを対象に河川愛護に関する作文及びポスターを募集しましたところ、13校から合わせて213点のポスターの応募がありました。

多くの力作の中から、出雲市立河南中学校3年 平田真紀さんの作品が中国地方建設局長賞に、松江市立津田小学校3年 加藤萌子さんをはじめ9名の方の作品が出雲工事事務所賞に選ばれました。

河川愛護ポスター展

7月27日から29日まで出雲市内のデパートパラオで全応募作品を展示しました。立ち寄った人は1点1点じっくり鑑賞しておられ、また、夏休み中ということもあって小・中学生のみなさんの姿も目立ち、「これがいいな。」などと言いながらお気に入りの絵を見つけたりしていました。

作品を観ていただいて、それぞれのポスターに込められた子供たちの川に対する思いやメッセージが伝わったのではないのでしょうか。



出雲工事事務所賞表彰式



7月23日、出雲厚生年金会館において、出雲工事事務所賞の表彰式を行いました。保護者の方が見守る中、受賞者のみなさん一人ひとりに鈴木事務所長から賞状が手渡されました。



中国地方建設局長賞

7月31日、広島市にある建設省中国地方建設局で表彰式が行われました。

出雲市立河南中3年 平田 真紀 さん



緊張した表情で

今年も多数の応募ありがとうございました。これを機会によりいっそう川に親しんでいただければと思います。



宍道町立宍道小6年 上野真知子 さん



多伎町立岐久小6年 山本 麻衣 さん



宍道町立来待小6年 五百川智代 さん



多伎町立多伎中2年 藤田 恵 さん



出雲市立河南中3年 今岡美紗穂 さん



出雲市立第三中2年 宮岡 俊夫 さん

ふれあい
放水路
通信

古
志
まつり

華やかに開催される



▲パネル展示コーナー

八月一、二日、古志まつりが開催されました。ねじりハチマキ・ハッピ姿も粋な子供みこし、約三〇〇発の夜空を彩る打ち上げ花火、神戸川の川面も揺れるほどの神戸川太鼓の演奏など様々な催しが行われ、子供からお年寄りまで大勢の人でにぎわいました。今年には建設省出雲工事事務所からも参加し、斐伊川放水路事業、環境整備事業、水質保全対策などのパネル展示を



▲ラジコンでアメ玉すくい


行い、地域の皆さんに事業に対する理解を深めていただきました。また、多くの子供たちに、工事現場でよく見かけられるバックホウと同じ動きをするラジコンのおもちゃ（1/12スケール）でアメ玉すくいをしてもらいました。上手く操作してたくさんアメをとることができたでしょうか？

表彰式を終えて見学会

河川愛護ポスター受賞者のみなさんに、表彰式の後、新内藤川水門の工事現場と平田市にある穴道湖グリーンパークを見学していただきました。

現在、新内藤川水門は水門の本体工事の真つ最中です。全体の工事説明を聞いた後、普段は立ち入ることのできない工事現場の中へ入ってもらいました。ヘルメットをかぶり、現場の人の案内により高さ約十四メートルの水門の機械室となる部分の上へ。普段とは違う視点で見ると、工事の様子や水門の大きさがよくわかるだけでなく、川がどのように流れてくるのか、よく見えたのではないのでしょうか。穴道湖グリーンパークでは穴道湖にいる野鳥の観察をし、バードウォッチングの楽しさを味わっていただきました。



 建設省中国地方建設局
出雲工事事務所
〒693 出雲市塩冶有原町5丁目1番地
☎(0853)21-1850

斐伊川放水路の工事実施状況



(平成9年8月以降の発注工事)

工事名	業者名	工期
菅沢掘削工事	(株)常松土建	自 H9年8月5日 至 H9年12月15日

本誌に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。

問い合わせ先：ふれあい放水路担当